

不便なウィーンがなつかしい

今井 顕

オーストリア日本人会が設立50周年を迎えられたとのこと、おめでとうございます。帰国して13年たちましたが、その節はいろいろとお世話になりました。

私のヨーロッパ生活は通算で24年でしたが、そのうちウィーン滞在は1971～76年の修行時代、そして1981～95年までウィーン音大でピアノを教えていた期間です。1971年というすでに大昔。ニクソン政権のもとでドルショックが勃発し、日本から持ってきた虎の子の生活費が換金できなくなってしまいました。当時は1ドル＝360円、外貨持ち出しには制限があり、国際電話もオペレーターに申し込んでから少なくとも30分は待つという時代で、パック旅行などもまだありませんでした。

外国為替が停止するとは未曾有の大事件でしたが、下宿のおぼさんの表情は「なに、いざとなったら毎日カルトツフェルを食べていれば死にはしないわ」と涼しげです。やはり戦争を乗り越えた世代は違う、と若いなりに（当時まだ17歳でした）感心したのを覚えています。

オペラ座前の地下通路は当時すでにリンクの下の部分だけ完成していましたが、カールスプラッツには連結していませんでした。エスカレーターが年配の市民の自慢で、しばしば「日本にもこういう便利なものはあるか」と聞かれたものです。

「Ja, natürlich!」とは答えたものの、日本で屋外に設置されていた例はあってもまだわずかだったか

も知れません。また今の光景からは想像できないと思いますが、当時はケルトナーもグラーベンも、そしてリンクも双方向に車が往来していました。

60年代後半あたりから、日本の音楽家が活躍の場を海外へ積極的に求めるようになり、各地のオーケストラに入団する日本人が増加していきます。その後しばらくして、教育機関などで指導的な立場に就く日本人も出るようになりました。しかし、由緒ある名門ウィーン国立音楽大学のピアノ専攻科で、30歳に満たない東洋人の私が現地の人に向かって「君のモーツァルトの弾き方は本物ではない」などとのたまうにはまだ風当たりも強く、人知れぬ苦勞もまったくなかったわけではありません。

そんな時に日本人会から発行される会報といっしょに毎月お届けしていたのが拙



昔(左)と今(右)のワルツ王、ヨハン・シュトラウス(シュタットパーク)

文、「音楽雑学帳」でした。ウィーン駐在中の音楽が専門ではない日本の方々への豆知識をA4紙2ページにまとめたプリントです。せっかく音楽の都ウィーンに滞在していたのだから、帰国してからも「本場ウィーンではね…」と蘊蓄をさりげなく披露できるように、というスタンスで書き始めました。1984年から95年まで102回も連載できたのは、毎回愛読して下さった皆様からの励ましがあつたからにほかなりません。連載が50回になった時に日本人会より本の形で出版していただけたのも、たいへんに嬉しいことでした。

そのあとがきに書いたのですが、この連載の歴史は同時にワープロの歴史でもありました。今ではお話にならないような（しかし当時としては画期的な）性能の「日本語タイプライター（ブラザー製）」というポータブル機から始まったワープロは日進月歩の勢いで発達し、あっという間にオフィスの必需品となりました。私が最後に使っていたのは東芝のルポという機種ですが（懐かしいですね）、次第に「ワープロとパソコン、どちらが便利か」という論争が起きるようになりました。その後マイクロソフトのウィンドウズ、またアップルの漢字トークなどが開発されるに至ってワープロはおろか、日本のパソコンの王者NECの98シリーズも衰退してしまったのは、ご存じの通りです。



楽友協会ホール

ウィーンも日夜変容していることと思います。ヨーロッパがユニオンになって通貨が統一され、国境もフリーパスになってからの変化には、目を見張るものがあります。ずいぶん便利になったことでしょう。でも、何となく淋しい気もします。以前のオーストリアの良さはどこか「効率の悪さ」にもあつたように思うのです。それを補うために、人とのコミュニケーションがありました。日常の食料品を対面販売するたった数坪の小売店（Feinkost、Lebensmittelなどといった看板でした）は、もはやスーパーマーケットに駆逐されてしまったようです。グローバルというかけ声のもとにそうしたものがすたれてしまうのは、さびしいですね。国が変わるたびに通貨が変わるのも確かに煩雑ですが、シリング、マルク、リラ、フラン、ペセタ……それもまた情緒があつたなあ、と思ひ出す今日この頃。老化現象でしょうか…？

<今井 顕（いまい・あきら）>

ピアニスト。1981より95年までウィーン国立音大ピアノ専攻科における日本人初の講師（後には客員教授）として教鞭を執った。現在は国立音楽大学大学院教授。
<http://homepage.mac.com/akimai/>